

令和5年4月12日

デジタル技術の活用及びDX推進の取り組み状況

株式会社丹沢の森どうぶつ病院

1. デジタル技術の重要性

デジタル技術の活用は、顧客満足度を向上させ、当社の競争力に対し好影響を及ぼす非常に重要な要素だと考えています。

具体的には以下の3点より、競合優位性が高まります。

A) 労働生産性の向上

アイケア 手持眼圧計 トノベットプラスでは自動でその動物種に適した眼圧の計測方法を設定し、また自動で正しい測定位置を表示することでこれまで手作業で確認していた手間が省かれます。またの導入により診察時間も大幅に短縮されます。最新のデジタル技術を活用することで、院内の労働生産性を向上させます。

B) 見える化の推進

ストルツ テレパック VET X LED はこれまで視覚的に把握できなかったペットの検査・手術中の状態や生体内の状況を、デジタル技術により飼い主様に目で見えて理解していただくことが可能になります。より理解をして頂いた上での治療を進めることで、インフォームドコンセントを徹底します。

C) 安全性の向上

医療現場において、安全性を向上させ医療ミスの可能性を極限まで低くすることは、レピュテーションリスクを低減するためにも非常に重要です。デジタル技術により術中の作業を自動化することで、人為ミスがなくなり、安全性が向上します。

2. 上記を踏まえた弊社の経営ビジョン

「デジタル技術を十分に活用して、二次診療に近い高度な獣医療サービスを院内で提供する動物病院へ」

当院は本事業を通じて内視鏡手術に特化した機器を導入します。本機器ではデジタル技術を用いた設備を導入し、高度な医療を提供します。デジタル技術の活用により当院内と動物、飼い主様にとって多くのメリットを持ちます。顧客満足度の向上によって患者数が増加し、経営面で弊社に寄与します。

3. 当社の経営ビジョンの実現のための戦略

- 眼圧検査、内視鏡を用いた手術以外にも今後継続的にデジタル化の検討
- デジタルリテラシーを強化する教育、研修の実施
- 上記をより推進するための外部専門家との連携

令和5年4月12日

4. 戦略推進のための組織体制

